

定員
15名

1泊2日
合宿

対象
取締役、執行役員、
または同等のお役職の方

重点
テーマ

先見性を養い、競争優位に立つ

- ◎社会、経済、経営について、国内外で活躍している一流の経営者・講師からの知的刺激により視野を広げ、不確実性の高い将来に対する“先見性”を養う。
- ◎将来展望を見通すだけでなく、経営者としての想いや意志を経営の中でどう表現するかを模索する。
- ◎役員同士の他流試合から、自業界や自社を俯瞰し、異業種の視点や情報を取り入れながら、ビジネスの可能性、変革や改革の方向性を探る。

日程
会場

日程	会場
第6回 2017年 12月 1日(金)～2日(土) 1泊2日 合宿	庭のホテル(東京都千代田区三崎町)

講師
(敬称略)



藤山 知彦
国立研究開発法人
科学技術振興機構
研究開発戦略センター
上席フェロー

東京大学 経済学部経済学科 卒業。1975年 三菱商事株式会社 入社(調査部)後、経営計画室、社長室 会務局、MCNプロジェクト室、企画調査部産業調査チームリーダーを歴任。1993年 泰国三菱商社 社 業務部長(在バンコク)(SIAM MC TRADING社長を兼務)。1997年 三菱商事株式会社 企画部 企画室長、その後、戦略研究所長、中国総代表補佐(在北京)をつとめ、2004年 インター・アクティブ株式会社 代表取締役社長。2005年 三菱商事株式会社 国際戦略研究所長、2008年 執行役員 国際戦略 研究所長、2010年 執行役員 コーポレート担当役員補佐、2013年 常勤顧問。2016年4月より現職。東京大学政策ビジョン研究センター 客員研究員、国際基督教大学外部評価委員を兼務。
〈主な過去の公務〉2011-14年 公益財団法人 国際金融情報センター(JCIF)理事。2013年 総務省 ICTコトづくり検討会議委員。2014年 経済財政諮問会議 成長・発展ワーキンググループ委員。



松村 啓史
テルモ株式会社
代表取締役 副社長
執行役員

関西学院大学経済学部卒。1976年、テルモ株式会社入社。2001年、執行役員 経営企画室長 兼 研究開発センター部長、その後、取締役 専務執行役員 研究開発本部管掌 兼 ホスピタルカンパニー統 轄を経て、2014年より取締役 副社長 執行役員 ホスピタルカンパニープレジデントに就任。2016 年より代表取締役 副社長 執行役員 渉外、総務部、ダイバーシティ推進室、営業管理部担当。2017年 より取締役顧問就任予定。
日本輸液製剤協議会 副会長、東京医科歯科大学 大学院 非常勤講師、北里大学 非常勤講師等も務める。
〈主な著書〉「幸せ交渉術」「リーダー渾布」「未来を拓く 愛と希望の看護：松村流 悩める看護管理 者への処方せん」(いずれもメディカ出版)



岡田 正大
慶應義塾大学大学院
経営管理研究科 教授
経営学博士

早稲田大学政治経済学部政治学科卒、本田技研工業を経て、慶應義塾大学経営学修士(MBA)。アーサー・D・リトル(ジャパン)社にてIT業界の戦略コンサルティングを経験後渡米、米国オハイオ州立大学でジェイ・バーニー 教授に師事し、経営学博士号(Ph.D.)を取得して現職。専門は企業戦略理論。近年は企業による経済的価値の増 大と社会性追求の間に相乗効果が生まれる条件を研究。フィールドとしては新興国市場を中心に調査を行って いる。東南アジア、南アジア、アフリカを中心に国内外の営利企業・非営利組織のフィールド調査を実施中。
〈主な著書・論文〉「新たな企業観の行方：CSVは企業の競争優位につながるか」ダイヤモンド・ハーバード・ビ ジネスレビュー(2015年1月号)「仕事に役立つ経営学」(共著)日経文庫(2014年)「企業戦略論-競争優位 の構築と持続(上・中・下)」翻訳(ジェイ・B・バーニー著、ダイヤモンド社、2003)

コーディネータ
(敬称略)



網倉 久永
上智大学 経済学部
教授

一橋大学商学部卒業。一橋大学大学院商学研究科博士課程単位修得、千葉大学法経学部経済 学専任講師・助教授を経て、1997年上智大学経済学部経営学助教授。 2000年より現職。
その間、ペンシルベニア大学経営大学院客員研究員(1992-1993)、カルロ・カッタネオ大学 客員教授(2000-2001)、カリフォルニア大学ディビス校客員研究員(2007)。
最近の研究テーマは、組織能力の構築と競争優位の維持。

特長

異業種による時代、経営、戦略の徹底洞察

今後ますます不確実性が高まる経営環境、複雑かつ急速な社会変化や、ビジネスのグローバル化に対し企業の経営幹部には、これまで以上に先見性や自社の優位性を追及することが求められます。より視野を広げ、長期的かつ多角的に業界や自社の将来・成長、または改革を考える機会をご提供いたします。

- これからの経営のあり方
- 求められるリーダーシップ
- 中長期的な戦略思考を磨く

将来を見通してみる

1

経営層のなすべきことを考える

2

自社の将来優位性を考える

3

■ プログラム (敬称略)

【コーディネータ】網倉 久永(上智大学 経済学部 教授)

グローバル視点での考察

中長期戦略の洞察

1日目

2日目

9:30 オリエンテーション

■ 講義
「経営環境のセンス・メイキング」

上智大学 経済学部 教授

網倉 久永

企業では、外部環境のできごとに「意味づけ(センス・メイキング)」を行い、自社にとって関連度の高いものから低いものに識別しています。本講義では、外部環境要因の分析と、戦略立案者による外部環境のセンス・メイキングの関係について検討します。

■ ワークショップI
「経営環境のセンス・メイキング」

外部環境のうち、自社に強く影響を及ぼすものは何かを識別する基準は「当たり前」とされることが多く、識別基準自体の妥当性を意識的に検討することは少なくなりがちです。本ワークショップでは、多様な視点から、外部環境要因を捉えることを目的とします。

■ 特別講演 + 対話セッション
「グローバル化時代の企業戦略」

国立研究開発法人科学技術振興機構
研究開発戦略センター 上席フェロー

藤山 知彦

大手総合商社 国際戦略研究所長としての経験を軸に、グローバルなビジネスの潮流や経営環境の変化をどうとらえ、企業経営に活かしていくべきかを問題提起いただきます。経営者として、中長期的な視野で何をどのように考えるべきか議論を深めます。

19:00～夕食懇親会

9:00 前日の振り返り・導入

■ 講義 + 対話セッション
「企業ドメイン：環境変化と全社戦略」

上智大学 経済学部 教授

網倉 久永

企業は外部環境に「意味づけ」し、自社と関連度が高い「環境部分」を「企業ドメイン」として選び出しています。本講義では、企業がどのようにして自らのドメインを定義していくのか、またドメイン定義が全社戦略にどのように影響するかを検討します。

■ 特別講演 + 対話セッション
「テルモの中長期戦略の取り組み」

テルモ株式会社 代表取締役 副社長 執行役員

松村 啓史

グローバルなビジネス拡大や新事業創造など、今後の成長における先見性の活用を考えます。市場動向、経営環境変化の予測をどのように取込み、事業化していくか、実企業の取組みを取り上げそのポイントを掴みます。

■ 講義
「グローバル化時代の企業戦略」

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授

岡田 正大

グローバル化時代における企業戦略を「経営」「戦略的意図」「イノベーション」「共有価値」などの視点から読み解き、これから企業が何を目指し、どのような企業観を選択していくべきか、洞察していきます。

■ ワークショップII
「環境変化と全社戦略：ドメイン定義のあり方」
～自社の現在価値と将来価値～

本ワークショップでは、2日間の総括として、各講師の講義・ワークショップを振り返り、外部環境要因の変化をどう捉えるのか、そうした諸変化が自社の全社戦略にどのように影響するのか(逆に、自社は環境にどう働きかけるのか)、企業ドメインをどのように設定することが自社にとって望ましいか、などについて討議します。

まとめ

(18:00終了)